

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 池田高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月4日(火) 10:00～12:15
- 3 開催場所 池田高等学校視聴覚室  
開催にあたり、委員による授業参観及び『第5回ぎふビジネスアイデア・プレゼンテーション』高校生の部準グランプリを受賞した生徒グループによる発表を実施した。
- 4 参加者

会長	小林 月子	サンブレッジ国際医療福祉専門学校名誉校長	
副会長	西川 昭	育友会長	
委員	高橋 利行	池田町教育長	
	宇野 秀宣	神戸町教育長	
	河村 茂雄	池田町立池田中学校長	
	岡田 勝彦	神戸町立神戸中学校長	
	國枝 正義	池田町上田区長	
	高橋あゆみ	神戸町立北小学校読み聞かせボランティア 神戸町立図書館運営協議会委員	
	野原 昭弥	地域商工会代表	
	安田 正博	県青少年健全育成指導員	
	学校側	鈴木 彰	校長
		栞原 利樹	教頭
	田村由美佳	事務長	
	吉田 一臣	教務主任	
	古山 克幸	進路指導主事	
	三輪 智子	生徒指導主事	

### 5 会議の概要(協議事項)

#### (1) 「令和6年度 教育指導の重点及び学校経営計画」について

意見1: どのように生徒の授業評価を行っているか。

⇒全生徒、全科目を対象に、タブレット端末を使用したアンケートを年に2回実施している。全てのデータを教職員は閲覧が可能で、教科別やクラス別に結果を出したり、記述回答につき自己分析をしたりするなどのフィードバックを行っている。

意見2: 県の第4次教育振興基本計画にも、ふるさと教育を重視するとある。探究的な学習において、地域資源の活用などを通じてぜひ協力したい。

意見3: 失敗を恐れない、失敗してもそれもまた学びだというスタンスが素晴らしい。そのた

めに地域を始めみんなで支えていこうという気がみなぎっているのが伝わってきて、今後が期待される。

## (2) 「スクール・ミッション」の策定について

- 意見4：生徒が失敗を恐れないでいろいろなことにチャレンジする、そういう生徒を全教職員が地域を巻き込んで支援していく学校というのがよい。
- 意見5：探究学習において「地域課題」について、役場や商工会など外部に発信して、フィードバックを受けることや課題探究の継続性が大切である。
- 意見6：現在の社会は、フェイクや偽物というのが非常に表面だけ取り繕っているような印象がある。偽物を見抜く眼、本質を見抜く眼を養うのが、教育の本質であり最も大事なことだ。
- 意見7：様々な課題を抱えていても、本当に学びたい、できればこの地域で学びたいという気持ちを持っている生徒も安心して学べる、そのような環境が重要だと考える。
- 意見8：授業見学を通して、学校独自の教科を設定したりコース別授業があったりと、単位制による選択の幅広さにとても驚いた。生徒が学びたいことを学べるというのはとても魅力的である。それがさらに促進されるとよい。
- 意見9：本校はユネスコスクールである。地域の祭りや地域行事で外国からの訪問者に英語で説明するなど外国語を使える場を設定して、グローバル化も図っていくとよい。
- 意見10：探究活動で、生徒が学校外の人々とコミュニケーションをとりながら様々な学びを得て、それをまた学校へ持ち帰ってみんなに発表するという仕組みが大変よい。そうした力を身に付けた上で将来的に地域に還元できるようになるとすばらしい。
- 意見11：別の機会に、生きる力を身につけるのが学校本来の目的ではないかと議論したことがある。そうした意味で外部との交流は面白く意義がある。また授業見学時、教室にマイナス発言は禁止、常にプラス思考でというキャッチフレーズがあったが、これは非常によい。
- 意見12：単位制による選択授業が興味深かった。すでに話として出たが、様々な事情でやむなく町外に通えなくても優秀で地元で頑張りたい生徒にとって、本校は良い選択肢である。
- 意見13：社会に出た時に生きる力が問われるが、この点で個性を伸ばしてもらいたい。企業の人事関係の方が、会社の面接で応募者がみな同じことばかり喋ると言っていた。しかし会社はそういう人ではなく個性のある人を求めている。社会で生きていく力を身に付けて、自分の意見をはっきり言える生徒を育成する、そのような教育をしてもらいたい。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の本校の教育指導の重点及び学校運営計画を踏まえた学校運営基本方針に対して、全ての委員から承認が得られた。

今回は、期待される学校像である「スクール・ミッション」を策定するにあたり、本校が地域においてどういう役割を果たしているか、役割を果たしてほしいか、またそのためにどういう教育活動を重点とすべきかを、各委員から意見やアイデアを出してもらい、交流を図った。

「地域（との連携、への還元、の学校）」や「チャレンジ（挑戦）」、「発信」、「本質を見抜く眼」、「ユネスコスクール」、「探究的な学び」、「生きる力」、「多様（選択、単位制、多様性）」など様々なキーワードが挙がり、現在の方針を積極的に推し進めていく裏付けを得るとともに、本校の教育活動への心強い支援表明や賛同、期待の高さを改めて認識することができた。今回の貴重な助言・提言を基に、今後も引き続き地域の期待に応え魅力ある学校づくりを進めていきたい。